

公益社団法人私立大学情報教育協会  
2019年度第1回FD情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：令和元年10月24日(木) 11:00から13:00まで  
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会会議室  
III. 参加者：河合担当理事、今井委員長、及川委員、中村委員、家本アドバイザー、山本アドバイザー、  
Skype：渡辺(博)委員、朽尾委員、渡辺(淳)アドバイザー  
事務局：井端事務局長、野本

IV. 検討事項

1. 昨年度の振り返りを行った。
- ・ 昨年度開催したプログラム（全体会、ワークショップ）について、ジャーナルの開催報告と参加者アンケートにより実施状況の確認をした。
  - ・ PCに詳しくない先生もおられ、基礎的な講習の期待、リピータがおられることで参加できなかったワークショップへの希望や構成の変更などが確認された。
2. 今年度の研究講習会について
- (1) 日程は、令和2年2月26日（水）、27日（木）に追手門学院大学の新キャンパスを会場とすることで決定した。
- (2) 全体会は、対面授業とICTを混在させた授業などどのように取組むべきかの方向性の話、問題発見・解決型の授業、次の教育方法がみえるような話、考える力を高める授業などを情報提供する意見があり、以下の講演を想定することにした。
- ① 挨拶で、教育の方向性に関する話題を含めることにした。
  - ② 分野横断フォーラム型授業の取組みについて2件の講演
    - ・ 法政策等フォーラム型授業
    - ・ 多職種連携フォーラム型PBL授業
  - ③ 著作権関連の情報提供
- (3) ワークショップ（WS）の構成について、昨年度を振り返り、下記のような意見や提案があり、次回の委員会で開催要項に掲載するレベルの具体的なワークショップ提案を持ち寄り、プログラムの枠組みを確定させることにした。
- ・ データサイエンスやデータ分析に関する期待もあったが、講習の形にするには現状では困難ではないか。
  - ・ ユニバーサルデザインの問題で、色使いの方法やフォントの利用等提示してはどうか。
  - ・ 双方向型授業を目指した Google Forms でのコンテンツ作成演習の提案や、地域社会連携型授業の事例を通じて PBL 授業のマネジメント・ファシリテーション・授業シナリオ作成などの演習が提案された。
  - ・ 新設した ICT ツール紹介の部分は、授業の流れに合わせて説明する進行ではどうか、LMS は2つの WS の構成や作成演習の課題などを見直してみることにした。
  - ・ モバイルでの教材作成は、参加者のレベル等で状況が分かれる感じを受ける。
  - ・ ルーブリックは LMS を利用したが、ICT を活用してルーブリックを作成する程度に見直しをしても良いのではないか。
  - ・ 動画教材作成は継続を考えている。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回の委員会は、11月21日に開催し、ワークショップの「コース内容」、「参加要件」などを検討し、開催要項を確定させることにしている。